



総選挙では議席を大きく増やしていただき、議案提案権を獲得できました。さっそく今国会に、政党と政治を腐らせる「政党助成金」廃止法案を提出、各党の真剣な検討をよびかけています。

こんどは県議選です。日本共産党をさらに伸ばし、県政でも、もっともっと発言力を大きくしてください。

国政・県政・市政一体で、安倍暴走ストップ、暮らしを守るために全力をつくします。



県議会議員

いちたに 知子

市谷とも子

プロフィール ● 1968年生まれ。鳥取西中、鳥取西高、鳥取大学教育学部卒。教員、病院勤務ののち、日本共産党に勤務。党中央委員・県副委員長。県議2期。鳥取市西品治在住。



2014総選挙

8⇒21議席に躍進!!

県議選でもさらに伸ばしてください

①安倍さんはコワイ、暴走を止めて!!

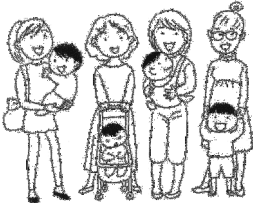
——この思いは日本共産党へ

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」具体化、消費税10%への増税、原発の再稼働…。安倍政権は暴走の途上で、決着はこれからの国民の世論と運動にかかっています。

「暴走ストップ!!」の願いは、日本共産党へおよせください。鳥取から「暴走ストップ」の声を大きくあげましょう。

②ムダづかいやめて

暮らし・子育て応援へ



消費税8%への増税、年金削減、物価高、実質賃金の下落、生産者米価の暴落など、県民の暮らしは本当にたいへんです。いまこそ、県政が県民のくらしや子育てを応援するために、全力でがんばるときです。

県民の命とくらし、
平和がかかった
大事な政治戦

県政、市政と連携し

願い実現へ全力

みなさんの大きなご支援で、11年ぶりに中国ブロックで日本共産党の衆院議席を回復できました。

市谷とも子県議と連携し、願い実現に全力でがんばります。県議選で日本共産党を大きく伸ばしてください。

県民の立場でトコトンがんばる

若者の声に耳を傾けてくれる人
是枝 清一さん (23歳)

就職難やブラックバイト、奨学金返済など、私たちの悩みに丁寧に耳を傾け、ナマの声を県政に届けて改善しようとされた市谷さんの存在は心強いです。私たちも一緒にがんばりたいと思います。

弱い立場の人の力になってくれる人
江原 真由子さん

子ども3人を抱え、出産・育児で仕事をやめざるをえなくなり、看護学校修学資金の返済に困り、相談にのっていただきました。弱い立場の人の力になってくれる人です。

スジを通す姿に敬意
自民党県議

思惑や駆け引きが多い県議会のなかで、共産党がスジを通すことには敬意を表する。



日本共産党

比例中国ブロック
衆議院議員

大平よしのぶ

日本共産党演説会 ● 3月14日(土)午後2時～ ● 鳥取市文化ホール

「対決」「対案」「共同」――

県民と力をあわせて県政を動かす

日本共産党

日本共産党議員は、県民の目線で県政をしっかりチェック、県民の願い実現へ具体的提案をおこない、一致点で共同してがんばってきました。

①県政チェックムダや理不尽は許さない

- 不況で滞納せざるをえなかった県税を徴収するためには、児童手当まで差し押さえる――こんなやり方は許せないと県議会で追及、3年にわたる裁判で原告を支えました。2013年11月、県は判決を受け入れ、児童手当を原告に返還しました。
- 「鳥取県を北東アジアの玄関口に」と、3年間の予定だった韓国企業DBSクルーズへの支援をズルズルつづけ（5年間の関連予算は7億円）、赤字が4.2億円にふくれて展望を失った今も支援を継続。議員の海外視察など、ムダづかいにキッパリ反対してきました。

②願い実現――現場の声をよく聞き、改善を提案

- 30人以下学級を繰り返しもとめ、小学1・2年生30人以下、中学1年生33人以下、小学3～6年生と中学2・3年生が35人以下学級へと前進しました。
- 企業立地補助金が実際に雇用拡大に役立っているかチェックし、県内中小企業が使える制度への改善を提案。2010年2月以降、県内中小企業に66件・約21億円が補助され、470人の雇用が増えました（2014年3月末現在）。
- 「住民の苦難軽減につくす」がモットー――農地災害対策予算の増額、妊娠・出産・育児で退職中は看護師修学資金の返済を猶予できる制度、などを実現しました。

③共同――党派をこえて力をあわせる

- 「若者働き方アンケート」にとりくみ、よせられた深刻な労働実態や切実な声を県や政府に届け、「ブラック企業をなくせ」「人間らしく働けるルールを」とがんばっています。
- 「海外で戦争する国づくりノー」「TPP撤退」「原発再稼働ストップ」など、党派をこえて力をあわせてきました。

県の予算と基金を活用し くらし最優先の県政へ

海外視察などムダづかいやめて
国保料の負担軽減
介護・子育て支援へ

- 国保料1世帯1万円の引き下げ。
- 介護保険料・利用料の負担軽減。
- 待機者ゼロへ、特養ホームの増設。
- 返済不要の給付制奨学金制度の創設、延滞金の廃止を。

消費税10%はキッパリ中止
地域経済の活性化を

- 「別の道」があります――①富裕層と大企業に応分の負担、②大企業の内部留保の活用で国民の所得を増やし、税収を増やす。
- 住宅・商店リフォーム助成、お試し発注、官公需など、中小業者に仕事を増やします。

TPPから撤退
米価暴落対策
農家の所得補償を

- 過剰米の政府買い上げで米価暴落対策を。交付金半減措置の中止を。
- 価格保障と所得補償で農家経営を守り、食料自給率を向上させます。

「海外で戦争する国」づくりを許さず、憲法9条を守りぬきます

政党助成金が
本部収入に占める割合

自 民 党	65%
民 主 党	83%
維新の会(当時)	72%
共 産 党	0%

(2013年分政治資金収支報告)

「身を切る改革」いうなら
政党助成金の廃止を

この20年間に43の政党が政党助成金6,311億円を受け取り、そのうち33の政党が消滅しました。国会議員5人以上で政党助成金がもらえるからで、政党の堕落、政治の劣化をまねいています。

「政党助成金廃止法案」
を今国会に提出 日本共産党

「政党助成金の廃止を
求める署名」にご協力を

「いっせい地方選挙募金」
へのご協力をお願いします

郵便振替で送金される場合は、【口座番号】01490-0-1789、【加入者名】日本共産党鳥取県委員会へ（通信欄に住所、氏名、職業、および「募金」と記入して）お送りください。

ここが
問題

自民・公明・民主
「オール与党」県議会

▼“お手盛り”で期末手当引き上げ
――議員だけはアベノミクスの恩恵??

「アベノミクス不況」もいわれるなか、昨年11月議会で議員の期末手当を「0.02月数分」（12,059円）引き上げました。県民から「せめて議員だけでも“アベノミクスの恩恵を”ということ??」の声が…。

▼国にモノがいない

「集団的自衛権撤回」「消費税増税中止」「医療介護法撤回」の請願や陳情を否決。

「島根原発再稼働見合わせ、3号機建設凍結」の陳情にたいし、日本共産党と他1議員を除いて3年余も「研究留保」しつづけ、事実上の不採択にしようとしています。

▼“チェック力”がない

「全知全能を傾けて支援を」（自民）、「ええじゃないか」（民主）と、ナノオプト社への巨額の補助を後押し。事実上撤退したナノオプト社からは補助金が返還されていません。民主党議員は「きちんとチェックできなかった」と“おわび”（昨年6月議会）。

県の一般会計予算は
約**3400**億円
その1~2%のやりくりでできます。

基金も**889**億円あります。
（県民1人当たり全国4位、全都道府県平均の2.6倍《県財政課ホームページより》）
うち自由に使える部分が**450**億円



若者が
希望をもてる鳥取へ

- ブラック企業・ブラックバイトを規制し、「人間らしく働けるルール」を確立します。
- 若者・子育て世代への家賃支援制度をつくります。
- 子どもの医療費は窓口負担も無料に。
- 保育料の無料化、学童保育の増設と保育料の軽減を。
- 高校通学費への補助制度をつくります。

